

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラチャ分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
	3,4	既存	情報提供	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ	-	ウ	-	特定保健指導対象者に対し、特定保健指導の案内を配布する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	健康意識向上を図るため健康情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。 生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。 20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。 リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。 21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。 他組合と比較し、被保険者・被扶養者ともに運動をしていない者の割合が高い。 2022年度の回答で生活習慣改善の意思なしと答えた方の割合が男性被保険者28.1%、女性被保険者21.6%であった。
配布率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：18% 令和8年度：21% 令和9年度：24% 令和10年度：27% 令和11年度：30%)								
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ、ケ、コ	-	ア、ウ、カ	-	①健康宣言・コラボヘルス事業所を訪問し、特定保健指導の実施を依頼する。 ②契約健診機関に対し、特定保健指導を健診当日に実施しよう依頼する。 ③コラボヘルス事業所に対し、事業実施の依頼をする。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	生活習慣病リスク保有者・予備群を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> 全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。 生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。 20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。 リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。 21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。 他組合と比較し、被保険者・被扶養者ともに運動をしていない者の割合が高い。 2022年度の回答で生活習慣改善の意思なしと答えた方の割合が男性被保険者28.1%、女性被保険者21.6%であった。
	特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：18% 令和8年度：21% 令和9年度：24% 令和10年度：27% 令和11年度：30%)												メタボ判定基準該当者割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：16.5% 令和7年度：16.0% 令和8年度：15.5% 令和9年度：15.0% 令和10年度：14.5% 令和11年度：14.0%)40歳以上							
	コラボヘルス事業所数(【実績値】31件 【目標値】令和6年度：35件 令和7年度：39件 令和8年度：43件 令和9年度：47件 令和10年度：51件 令和11年度：55件)												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：18% 令和7年度：18% 令和8年度：18% 令和9年度：18% 令和10年度：18% 令和11年度：18%)40歳以上							
84,800												-	-	-	-	-				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連													
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																			
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度												
疾病予防	3	既存	一般健診	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	-	ア	-	①被扶養者への健診受診勧奨を実施。 ②一般健診受診者に対し、費用を助成する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病を早期発見し、治療につなげる。 生活習慣病の予防。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。 生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。 20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。 リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。 21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。 被扶養者の健診受診率は50%近辺で推移している。 21年度・22年度連続で健診未受診者（被扶養者）のうち、普段から医療機関を受診している者が47.3%存在する。 新生物の医療費において、乳がんの医療費が一番高い。 												
														健診受診率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：85% 令和7年度：86% 令和8年度：87% 令和9年度：88% 令和10年度：89% 令和11年度：90%)特定健診、一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、共同巡回健診、全国巡回健診の受診率の合計。												特定保健指導対象者率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：23% 令和7年度：22% 令和8年度：21% 令和9年度：20% 令和10年度：19% 令和11年度：18%)-						
														60,760												継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施		
疾病予防	3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	35～74	加入者全員	1	ケ	-	ア	-	①被扶養者への健診受診勧奨を実施。 ②生活習慣病健診受診者に対し、費用を助成する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の早期発見、早期治療。 生活習慣病の予防。 	<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者の健診受診率は50%近辺で推移している。 21年度・22年度連続で健診未受診者（被扶養者）のうち、普段から医療機関を受診している者が47.3%存在する。 新生物の医療費において、乳がんの医療費が一番高い。 全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。 生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。 20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。 リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。 21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。 												
														健診受診率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：85% 令和7年度：86% 令和8年度：87% 令和9年度：88% 令和10年度：89% 令和11年度：90%)特定健診、一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、共同巡回健診、全国巡回健診の受診率の合計。												特定保健指導対象者率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：23% 令和7年度：22% 令和8年度：21% 令和9年度：20% 令和10年度：19% 令和11年度：18%)-						
														161,000												-	-	-	-	-		

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラチャータ分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	人間ドック	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ケ	-	ア	-	①被扶養者への健診受診勧奨を実施。 ②人間ドック受診者に対し、費用を助成する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。 ・生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。 ・20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。 ・リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。 ・21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。 ・被扶養者の健診受診率は50%近辺で推移している。 ・21年度・22年度連続で健診未受診者（被扶養者）のうち、普段から医療機関に受診している者が47.3%存在する。 ・新生物の医療費において、乳がんの医療費が一番高い。 ・高額患者の医療費構成割合のうち、被保険者・被扶養者とも新生物の医療費が多数を占める ・22年度の大腸がん医療費が18年度に比べて142%増加している。 ・新生物の医療費では、乳がん、大腸がん、肺がんの順で医療費が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の早期発見、早期治療。 ・生活習慣病の予防。
健診受診率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：85% 令和7年度：86% 令和8年度：87% 令和9年度：88% 令和10年度：89% 令和11年度：90% 特定健診、一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、共同巡回健診、全国巡回健診の受診率の合計。												特定保健指導対象者率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：23% 令和7年度：22% 令和8年度：21% 令和9年度：20% 令和10年度：19% 令和11年度：18%-								
3	既存	共同巡回女性健診	全て	女性	35～74	被扶養者	1	ア、イ、ウ、オ、カ、キ、ケ、コ	-	ア、ウ、カ	-	①被扶養者への健診受診勧奨を実施。 ②健診未受診者に対し、健診受診の督促を実施。 ③巡回健診受診者に対し、費用を助成する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。 ・生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。 ・20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。 ・リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。 ・21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。 ・被扶養者の健診受診率は50%近辺で推移している。 ・21年度・22年度連続で健診未受診者（被扶養者）のうち、普段から医療機関に受診している者が47.3%存在する。 ・新生物の医療費において、乳がんの医療費が一番高い。 ・高額患者の医療費構成割合のうち、被保険者・被扶養者とも新生物の医療費が多数を占める ・22年度の大腸がん医療費が18年度に比べて142%増加している。 ・新生物の医療費では、乳がん、大腸がん、肺がんの順で医療費が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知・岐阜・三重に居住する35歳以上の女性被扶養者に対して、健診バスによる受診機会を提供する。 ・生活習慣病・乳がん・子宮がんの早期発見、早期治療。 	
受診督促実施回数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)*巡回健診における督促												被扶養者特定健診受診率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：55% 令和7年度：56% 令和8年度：57% 令和9年度：58% 令和10年度：59% 令和11年度：60%-								
6,120												-	-	-	-	-				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラチャータ分類	実施体制	予算額(千円) 実施計画					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	全国巡回女性健診	全て	女性	35～74	被扶養者	1	ア,イ,ウ,オ,カ,キ,ケ,コ	-	ア,ウ,カ	-		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	東京・大阪・福岡など、東海3県以外に居住する35歳以上の女性被扶養者に対して、健診バスによる受診機会を提供する。 生活習慣病・乳がん・子宮がんの早期発見、早期治療。	<ul style="list-style-type: none"> 全体の医療費のうち、生活習慣病の割合が年々増加しており、22年度では全体の8.2%を占めている。 生活習慣病の加入者あたり医療費が18年度から22年度にかけて48.9%増加している。 20年度の特定保健指導対象者のうち、51%の者が21年度、22年度も連続して特定保健指導対象者となっている。 リスク者である治療放置群の割合が他組合よりも高く、また、重症化群の割合が年々増加および他組合平均を上回っている。 21年度から22年度にかけて重症化群の割合が増加している。 被扶養者の健診受診率は50%近辺で推移している。 21年度・22年度連続で健診未受診者（被扶養者）のうち、普段から医療機関に受診している者が47.3%存在する。 新生物の医療費において、乳がんの医療費が一番高い。 高額患者の医療費構成割合のうち、被保険者・被扶養者とも新生物の医療費が多数を占める 22年度の大腸がん医療費が18年度に比べて142%増加している。 新生物の医療費では、乳がん、大腸がん、肺がんの順で医療費が高い。 	
受診督促実施回数【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回※巡回健診における督促												被扶養者特定健診受診率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：55% 令和7年度：56% 令和8年度：57% 令和9年度：58% 令和10年度：59% 令和11年度：60%-								
3	既存	女性健診	全て	女性	18～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	乳がん・子宮がんの早期発見、早期治療。	<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者の健診受診率は50%近辺で推移している。 21年度・22年度連続で健診未受診者（被扶養者）のうち、普段から医療機関に受診している者が47.3%存在する。 新生物の医療費において、乳がんの医療費が一番高い。 高額患者の医療費構成割合のうち、被保険者・被扶養者とも新生物の医療費が多数を占める 22年度の大腸がん医療費が18年度に比べて142%増加している。 新生物の医療費では、乳がん、大腸がん、肺がんの順で医療費が高い。 	
健診受診勧奨送付回数【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												実施人数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：2,400人 令和7年度：2,450人 令和8年度：2,500人 令和9年度：2,550人 令和10年度：2,600人 令和11年度：2,650人-								
3	既存	脳ドック	全て	男女	50～74	基準該当者	1	ス	-	シ	-		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	脳疾患の早期発見、早期治療。	<ul style="list-style-type: none"> 高額患者の医療費構成割合のうち、被保険者・被扶養者とも新生物の医療費が多数を占める 22年度の大腸がん医療費が18年度に比べて142%増加している。 新生物の医療費では、乳がん、大腸がん、肺がんの順で医療費が高い。 	
PR実施回数【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回※機関紙でのPR												実施人数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1,280人 令和7年度：1,300人 令和8年度：1,320人 令和9年度：1,340人 令和10年度：1,360人 令和11年度：1,380人-								
3	既存	自宅でできる大腸がん検査	全て	男女	18～74	加入者全員	1	イ,ウ	-	ウ	-		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	大腸がんの早期発見、早期治療。	<ul style="list-style-type: none"> 高額患者の医療費構成割合のうち、被保険者・被扶養者とも新生物の医療費が多数を占める 22年度の大腸がん医療費が18年度に比べて142%増加している。 新生物の医療費では、乳がん、大腸がん、肺がんの順で医療費が高い。 	
事業PRの実施回数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												実施人数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：880人 令和7年度：900人 令和8年度：920人 令和9年度：940人 令和10年度：960人 令和11年度：980人-								